

2015年6月 第41号  
 三重県労働組合総連合  
 〒514-0015 三重県津市寿町7-50  
 みえ平和と労働会館  
 TEL 059-223-2615 FAX 059-223-4495  
 http://mieroren.labornet.jp/

# みえ労連

## zenroren



5月17日、青年連絡会は四日市スポーツランドでバーベキュー大会をしました。青年10数名が参加しました。

# 許さないぞ！戦争する国づくり 守るぞ！憲法といのち暮らし

## 安倍内閣暴走ストップに、県内で700人

### 中央メーデー

「生涯ハケン・残業代ゼロ法案」「社会保障改悪」反対、戦争する国づくりストップを  
 かけて、5月1日三重県内各地でメーデー  
 が取り組まれました。

10時から津市観音公園で行われた三重県中央メーデーには44労組・団体、320人が参加しました。メーデー合唱団によるオープニングに続き、開会挨拶に立った白井みえ労連議長は、安倍政権による働くルール破壊を厳しく批判し、「その行き着く先は戦争する国づくりだ。許してはならない」と訴えました。集会のあと参加者は色とりどりのプラカードを掲げ、市内を元気にパレードしました。初参加のみえ教育ネットワーク・駒田さんは「戦争中、メーデーは政府によって禁止されました。『戦争する国』になってしまつてはメーデーも祝えません。メーデースローガンに『平和』が入っていることを改めて重く受けとめました。」と語っていました。  
 (自治労連・新家忠文)



開会あいさつする白井議長



2部の司会をする福田春菜さん



### トワイライトメーデー

四日市諏訪公園では、第8回トワイライトメーデーが行われました。青年連絡会の中山さん、出口さんによる元気なオープニングに続き、主催者を代表して大崎昭一委員長が挨拶を行いました。大崎議長は、「5円玉のデザインは稲穂、歯車、水、双葉で、これには平和国家建設の理念が込められている。デザインを戦闘機、戦車、原発に変えさせてはいけない」と述べました。

来賓として四日市市商工農水部長の須藤康夫さん、商店街会長の増原一真さんが挨拶。続いて青年連絡会の福田さんの司会で、若者を中心に10名のリレートーク。リレートークの最後はリベラ法律事務所 芦葉 甫 (あしは・はじめ) 弁護士によるミニ講演(裏面に掲載)。残業代ゼロ法案の危険な狙いを訴えました。



### 紀北地区メーデー

「紀北地区メーデーは5月1日、午後5時45分から尾鷲市中央公民館・講堂で実施されました。尾鷲市職員労働組合ほか、三重医療福祉生活協同組合生協尾鷲診療所、年金者組合むろ支部、新日本婦人の会、紀北平和委員会、日本共産党南部地区委員会の6団体が決意表明しスローガンの確認を行いました。連休前の金曜日ということで、尾鷲総合病院が大変忙しかつたのですが、尾鷲市職労全体では50人が参加しました。  
 (尾鷲市職労委員長・中野誠)

### 4月29日 前々日祭



4月29日津市敬和公民館でメーデー前々日祭が行われ、70名が参加しました。「働く者の幸せと平和を願う合唱団(メーデー合唱団)」が労働歌を披露したのをはじめ、ゲストのバイオリン奏者によるクラシック曲の演奏などを楽しみました。特別企画としてバイオリンの伴奏で歌う労働歌は格別でした。  
 (中賀自治体一般・祖父江昌弘)



### 南勢労連



5月1日、津市で行われた三重県中央メーデーに南勢労連はマイクロバスを運行し、20余名が参加しました。

## 三重労働局に要請書を提出 メーデーの日に

メーデー参加後、南勢労連として三重労働局を訪ね「最低賃金1000円以上にして下さい」との要請書を提出しました。その後、松阪城跡で昼食をとり、南勢ユニオン・島谷特別執行委員の解説で城跡や御城番屋敷を散策しました。

(南勢労連事務局長 小山三郎)



三重労働局に要請書を手渡す南勢労連・小山事務局長

### 北勢労連

北勢トワイライトメーデーで芦葉弁護士が行ったミニ講演を紹介します。  
\*\*\*  
安倍政権は、労働基準法と派遣法を、今国会で改悪しようとしています。「労働時間の規制も休憩・休日の保障もなしに、残業代ゼロで働かせ放題」「派遣自由化で正社員減らし」がねらいです。  
今でも労働法は守られず、心身ともに疲れ果てながら働いている人は大勢います。働く権利の地盤は軟弱なのに、安倍首相は、働くルールを定めた労働法を「岩盤規制」と嫌い、穴をあけようとしています。

## 働く権利が危ない

芦葉 甫(あしば・はじめ) 弁護士

であり、適用しない人をつくるなどともありません。

「派遣法改正」では、派遣のいっその自由化をねらっています。派遣労働は正社員の替わりにしないよう、臨時的・一時的業務に限定され、原則1年、最長3年の期間制限があります。ところが安倍政権は、職場の「過半数代表」の意見を聴けば、たとえ反対されても、企業が派遣労働を使い続けら

をさせますが、過労死してからは遅すぎます。  
高度な専門性や年収1075万円の要件をつけていますが、日本経団連は年収400万円まで広げたいとしています。

労働基準法は、人たるに値する最低限の労働条件を全労働者に保障する法

れる制度にしようとしています。派遣労働者は派遣先企業から「もう要らない」と言われればおしまいです。労働条件に不満があってもセクハラ・パワハラにあっても苦情も言えず、契約更新に不安を抱きながら働いています。今でもひどい状態なのに、身分が不安定で低賃金の派遣労働者を増大させようというのが安倍雇用改革です。



トワイライトメーデーで発言する芦葉弁護士

私たちが時間も賃金も奪い、大企業の儲けを増やして、過労死と格差を広げる改悪に反対しましょう。

### 医労連

## 安全安心の医療・介護の実現を求める

三重県医労連は、5月9日午後鈴鹿ハンターにてナースウエーブを行いました。今年、「安全安心の医療・介護の実現と夜勤改善・大幅増員を求める」署名・宣伝と健康チェックを行いました。三重県下4つの労働組合から9人が参加しました。血圧計と体組成計を用いた健康チェックは好評で、順番を待つ人がいるほどでした。1時間余りの行動でしたが、25人の健康チェックを行いました。

(医労連 木村)



市民に好評 健康チェック



ナースウエーブに参加した三重県医労連のみなさん 5月9日 鈴鹿ハンター

### 社保協



記念講演する武田准教授

社会保障理念の変質  
自助、互助、共助、公助

会場からは「地域で助け合う(互助・共助)ことはダメだとは思わない。しかし、国が政策としてそれを押しつけるのは納得できない」「ほとんど年寄りばかりの町内で、互助など出来るわけがない」などの発言がありました。  
みえ労連の臼井議長が閉会挨拶をしました。

## 画期的な「介護事業所訪問」村瀬さん 戦後70年の社会保障制度を解明 武田先生

5月23日、三重県教育文化会館で三重県社会保障推進協議会の総会と記念講演が行われました。



総会で発言する村瀬さん

0・3%は画期的。説得力ある調査となった。調査員が直接事業所を訪問したのがよかった。総合事業への移行については「懸念している」が3分の2を超えるなど、現場の苦悩が浮き彫りになった。この結果を伝えながら自治体当局との懇談に取り組みたい」と今後への意欲を語りました。

総会では村瀬さんが「三重の介護をよくする会」が取り組んだアンケートについて報告しました。  
村瀬さんは「国のアンケートでも半分を超えることは珍しい中で、回収率5

総会の後、三重短期大学の武田誠一さんが「戦後70年、社会保障の今日的課題とは」と題して記念講演。社会保障制度の誕生から昨今の動きに至るまで、詳しく語りました。

「引退後の生活が以前に比べると格段に長くなっている中で、持続可能な社会保障制度をどう作っていくかは急務。しかし自助や互助ばかりが強調される傾向がある。自民党の改憲草案では『家族は互いに助け合わなければならない』とわざわざ書き込んでいるが、個人の生活上のリスクに社会的に対応するしくみとしての社会保障制度の理念を形骸化し、家族に責任を負わせようとするものだ」

など、社会保障制度の変質に警鐘をならしました。  
会場からは「地域で助け合う(互助・共助)ことはダメだとは思わない。しかし、国が政策としてそれを押しつけるのは納得できない」「ほとんど年寄りばかりの町内で、互助など出来るわけがない」などの発言がありました。